

# 子どもの生活

Children's Life

子どもの遊びは、遊びに使う用具によって大きく変遷<sup>へんせん</sup>してきました。ダッコちゃん人形やフラフープなど、その用具が流行することによって遊び方も広まってきました。高度情報化時代の現在、めまぐるしい遊び道具の開発によって振り回されている子どもに古き良き遊びを伝承していきませんか。

## 昔の遊び

### 川や水路で魚つかみ

昔から、砂があれば砂遊びをしたり、川があれば泳いだり魚をつかんだり、その地域の環境に合わせて遊びました。能登川町は川や水路が多いため、魚を釣ったりつかんだりして遊び、またこれが日常の食料ともなるので実益を伴った楽しさの大きな遊びだったようです。もちろん、道具は手作りで篠竹を切って木綿糸<sup>しのたけ</sup>をつけ、針をつけてそこらでとったミミズをつければできあがりという、簡単な仕掛けながら、フナを釣ることができました。ヤスを作って魚を突いたり、囲いを作って水をかい出し、みんなで手づかみしたりといろいろな方法を考えながら、日々川の中を覗<sup>のぞ</sup>いていたことでしょう。

### 貝釣りや蛙釣り

川や池では貝釣りや蛙釣り、エビガニ釣り（ザリガニ釣り）もできました。貝釣りの標的はカラス貝で、篠竹<sup>よし</sup>や葎の先を泥の中で穴をあけているところにそっと突っ込むと、貝が驚いて口を閉じそのまま引き上げてつかみ取ります。エビガニも、はさみ<sup>はさ</sup>で挟んだところを釣り上げます。蛙も針ではなくオオバコの葉などを使い釣っていたそうです。麦の茎をストローがわりにして蛙のお尻から息を吹き込み、おなかをふくらませて泳がせたという、ちょっと残酷なようですがこんな遊びもやっていました。



田舟に乗って水遊び

### 路地での遊び

子どもが遊ぶことのできた時代では、路地でも車の往来はほとんどなく、鬼ごっこや陣取り<sup>じんとり</sup>、影踏み<sup>かげふみ</sup>、メンコ、竹馬、まりつき、コマ回し、馬とびなど多くの遊びが堂々として行われていました。こうした遊びは、子どもにとっての社交の場で、遊びながら他人とつきあっていくためのルールを身につけていくことができました。



羽子板  
失敗したら墨で一筆？



糸まり  
絹糸がまいてあります。



竹馬

カラフルな模様のコマ



メンコ(パンエン)

### おうみだるま

おうみだるまは、以前全国的に有名な郷土玩具で、佐野の創始者寺井大門（善右衛門）氏が、大正年間に製作したのがはじまりです。県内の数少ない郷土玩具の中でも唯一の張子（はりこ）の郷土玩具で、戦後二代目寺井清二氏に引き継がれましたが、残念ながら現在は製作されていません。

一説によると、大津絵も伏見人形の影響を受けていると言われており、また、おうみだるまの中でも男達磨（おとこだるま）の画風は大津絵と共通するおもしろさがあります。

おうみだるまは3種類あり、漫画風な感じのする男達磨と、上品なほほえみを浮かべた女達磨（おんなだるま）（小さくてかわいい姫達磨）で、それぞれ特徴があります。

### 力強い遊び

馬跳び（高馬、赤馬など呼び方はいろいろあるようです）や相撲など体力を要する遊びは、男の子が好んで行い、遊ぶことによって体が自然に鍛えられていきました。

チャンバラや兵隊ごっこなどが、いろいろな場で行われ、ちょっとした木の枝や竹があれば、刀に見立てて遊んでいました。

### 家の中の遊び

家の中では、おはじきやビー玉、カロム、あやとり、カルタ、すごろくなどの遊びができました。

また、「ごっこ」が家の内外問わず行われていました。おはじきはビリヤードのようにテーブルの上から当



おうみだるま



てて下に落として遊んだりしました。大人のように将棋や囲碁などもして、おじいさんたちと対局するのも楽しみだったようです。

雨の日には外で遊ぶための準備として、いろいろな物を作り上げていました。とくに、凧や竹トンボ、模型飛行機などは、作ることが楽しみでした。

凧をあげて遊んだり竹トンボを飛ばして遊んだり模型飛行機や模型の船で遊んだりするのは、基本的には一人です。

遊びです。でも、一人でするよりも多くの友達と競ったり、教えあったり、場合によっては見せびらかしたりするのが楽しみで、一人でするより大勢で遊んでいました。

昔でも、ブリキのおもちゃやセルロイドの人形など、いろいろな種類のおもちゃを買ってもらっていました。

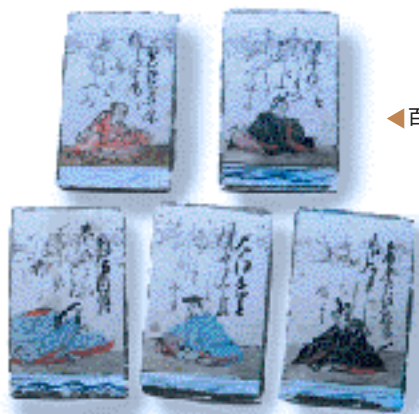
▼十手 捕り物ごっこに使いました。



▼カロム 湖東地方固有の遊びです。



◀百人一首



▲水鉄砲など 杉玉や山吹の実も使いました。



◀模型飛行機

